

# 第14回GEO本会合開催結果について

---

平成29年12月22日  
文部科学省研究開発局  
環境エネルギー課

# 第14回GEO本会合 開催結果概要①

- 期間：平成29年10月25日(水)-26日(木)
- 場所：ロナルド・レーガン・ビルディング(ワシントンD.C.)
- 出席者：約500名(参加国:約290名、参加機関:約150名、その他民間企業等)
  - ◆ 共同議長国：米国<司会>、欧州委員会(EC)、南アフリカ、中国
  - ◆ 参加国：日本、英国、豪州、韓国等の執行委員国をはじめとするGEOメンバー国
  - ◆ 参加機関：WMO、CEOS、IEEE等

概要：

## 1) GEO事務局長による講演（題名：「地球観測：変わりゆく世界への洞察」）

・GEO事務局長(バーバラ・ライアン氏)から、GEO初期の10年は、組織的、包括的、持続的な地球観測のために多くの時間を費やしてきたが、今後は理念の一部にある「決断と行動」に集中する時期である旨言及された。なお、GEOの第二期において、データのユーザーと提供者とのギャップを埋めることが重要であること、各メンバー国内でもGEOに関わる組織が多様化することが望ましいこと、データ共有により、キャパシティビルディング、教育、経済等にデータが用いられることの重要性について言及された。

## 2) 4つのパネルセッション（①公共政策、②商業セクター、③国際開発、④国家 における地球観測）

### ①公共政策における地球観測

地方から国までの異なる視点で、公共政策に情報提供するためのデータ利用について事例紹介があった。小国と大国それぞれで異なる連携の機会について紹介があり、議論の結果、以下の認識が共有された。キーワード＝多様性(diversity)

- (1) オープンデータは、地域レベルでの発展に有用であること。
- (2) 専門的なデータ分析を行う人材の育成や正確なデータ観測が必要であること。

### ②商業セクターにおける地球観測

地図情報関連企業や農場経営会社などから、各社の取組や観測データの利用等に関する紹介があった(日本からNTTデータ若松委員が参加)。議論の結果、以下の事について重要性を認識した。キーワード＝謙虚さ(humility)

- (1) GEOがデータを公開するだけでなく、プラットフォームとなること。
- (2) 商業データと公共データの連携を促進すること。

### ③国際開発における地球観測

世界銀行やJICAなどから、世界の地球観測に対する各機関の関心について紹介があった。議論の結果、以下の認識が共有された。キーワード＝統合(integration)

- (1) 防災や森林破壊等国境を越えた課題解決のためにデータ共有が重要である。
- (2) データを活用できる専門家も必要である。

### ④国家的な地球観測

米国、ベトナム、中国、英国から、自国の地球観測活動および計画に関する紹介があった。キーワード＝熱意(ambition)



## 第14回GEO本会合 開催結果概要②

### 3) 各種承認事項

- ・2017-2019GEOワークプログラム改訂版(新たにSBAとSDGsに対するGEOの各種活動をマッピングした。)
- ・2018年予算案、2016年監査報告書
- ・2018年プログラム委員会メンバー(その後12月に共同議長の改選が2議席分あり、日本とESAが就任。米国は引き続き共同議長を務める。)
- ・手続規則(商業セクターとの連携に関する規則の明確化等)

### 4) 2018年の執行委員国の発表

・事前に開催されたコーカス会合の結果を受けて、第15回本会合までの執行委員国が以下のとおり報告された(下線は共同議長国)。

- |                |   |
|----------------|---|
| ◇アジア・オセアニアコーカス | <u>中国</u> 、韓国、日本、豪州                     |
| ◇ヨーロッパコーカス     | <u>EC</u> 、ドイツ(フランスから交代)、フィンランド、英国      |
| ◇アフリカコーカス      | <u>南アフリカ</u> 、モロッコ(セネガルから交代)、ウガンダ       |
| ◇CISコーカス       | ロシア、アルメニア                               |
| ◇アメリカコーカス      | <u>米国</u> 、アルゼンチン、エクアドル(コロンビア、メキシコから交代) |

### 5) 第15回本会合日本開催アナウンス

・日本が作成した第15回本会合開催告知ショートビデオを上映した後、大山審議官から第15回本会合の開催地(京都)及び日程(2018年10月下旬から11月上旬)について告知を行った。その後、若田宇宙飛行士から次回本会合への参加の呼びかけを行った。

※現GEO事務局長であるバーバラ・ライアン氏は2018年6月に退任予定であり、本会合への参加は今回最後となった。  
新事務局長としてジルベルト・カマラ氏が2018年7月に着任予定。

